

豊明市議会議員 殿

行政等視察報告書

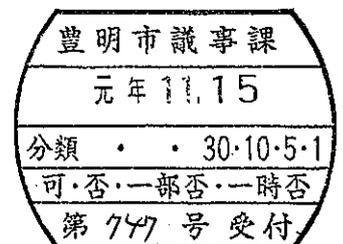
議員名 堀内 ちほ

令和元年度豊明市議会政務活動費にて下記のとおり行政等を視察しましたので報告します。

| 年 月 日 | 視察先 | 視察項目及び成果等 |
|----------------|-----------------------------|--|
| 令和元年 10 月 29 日 | 兵庫県姫路市 (姫路城管理事務所) | 「AR を活用した 姫路城の新たな演出」について |
| 令和元年 10 月 30 日 | 高知県高知市 (高知 ぢばさんセンター他) | 「第 1 4 回全国市議会議長会 研究フォーラム」 【1 日目】 第 1 部 基調講演 「現代政治のマトリクス ーリベラル保守という可能性」 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授 中島岳志氏 第 2 部 パネルディスカッション 「議会活性化のための船中八策」 コーディネーター 坪井ゆづる パネリスト 高部 正男 他 3 名 第 3 部 意見交換会 |
| 令和元年 10 月 31 日 | | 【2 日目】 第 4 部 課題討議 「議会活性化のための船中八策」 コーディネーター 坪井ゆづる 事例報告者 滝沢一成 他 2 名 ※別添報告有 |

(注) 別紙添付も可能とします。

(注) 本報告書は 5 年間公開します。



会派《清和・清風》行政視察 及び 研修参加報告書

報告者 堀内 ちほ

視察日 令和元年10月29日(火)～10月31日(木)

令和元年10月29日(火)

兵庫県姫路市(姫路城管理事務所)

『ARを活用した姫路城の新たな演出について』

◆概況

姫路市は、播磨地域の中核都市としてゆるぎない地位を占めている。

平成26年6月には全国に先駆け、国に提唱し、実現に至った都市制度である地方中枢拠点都市のモデル都市に制定され、平成27年4月には近隣の6市8町と、12月には赤穂市と連携中枢都市圏形成に係る連携協約を締結し、播磨圏域全体の経済成長のけん引、高次都市機能の集積などに取り組まれている。

平成5年に日本国初の世界文化遺産に指定された国宝・姫路城やハリウッド映画のロケ地ともなった書写山園教寺などの歴史的建造物や貴重な文化遺産も数多く有されている。

平成26年には、姫路市出生の戦国武士である黒田官兵衛をテーマにした大河ドラマも放送された。

平成27年3月には、約5年半にも及んだ大天守保存修理工事が完了し、姫路城はグランドオープン。

国内外への積極的なプロモーションの効果もあり、平成27年度の姫路城入場者数の過去最多記録に続き、平成28年度には外国人入場者数が、過去最多の365,180人を記録された。

平成30年度には、姫路城世界遺産登録25周年を記念してイベントを開催。

様々なイベントを開催し、姫路城の文化的価値をはじめ、姫路市の多様な魅力を国内外に発信されている。

◆視察内容

姫路城では、AR(拡張現実)を導入されている。

ARは、アプリケーションを手持ちのスマートフォン、タブレット端末を用いてダウンロード(ソフトは無料)して、現実世界からの情報を元にデジタル情報を重ね合わせ、視覚的に現実を拡張したもの。

敷地内の「姫路城大発見」のアプリのマークがあるARマーカーサインにかざすと、「しろまるひめ」という、かわいいキャラクターのナビゲーターが出てきたり、当時の建物を見ることができる。城内のARポイントは全部で16か所。

土塀の「狭間」から城兵が鉄砲を構え、射撃する動画が流れたり、乱世の世の戦いを本物さながらの迫力で見れる所などは、驚きである。

昨年7月から販売されている、白鷺の目線で世界遺産を見られるVRスコープ(税込み800円)は、「貴重な映像を大公開!」と宣伝されるも、なかなか購入には至らぬ現状とのこと。

姫路城のパンフレット作製には、企業からの援助があり、パンフレットの裏面には企業名が大きく記載されていた。

企業とのコラボにより、管理運営側の印刷物のコストカットと、企業の宣伝も出来、双方の利益を生み出している。

日本の城ランキング2019年第1位とあって、姫路城での様々なイベントは、若者の喜びそうな企画も多く、特に令和元年11月9日～11月30日まで開催される映像とイルミネーションによる幻想のナイトウォークは人気と思う。

プロジェクションマッピングをはじめ、様々な映像演出とイルミネーション・・・

入場料金は通常、大人1000円小人300円のところ

イルミネーションイベント期間入場料金は、大人1500円・小人500円と値上げされる。

女性は光ものに弱い・・・

パンフレットを手に、私も姫路城のイルミネーション見てみたい!と思った。

歴史好きにはたまらない桶狭間の戦い跡地にも、ARを導入し、リアルな戦国時代を体験したり、使い方によっては、大災害をARを使って体験することにより、市民の防災意識の向上も期待出来るのではないかと思う。

令和元年10月30日(水)・31日(木)

高知県市(高知ちばさんセンター)

『第14回 全国市議会議長会研究フォーラム』

【第1日目】30日(水)

第1部 基調講演

「現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性」

東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授の中島岳志氏の内容は、自民党の歴史を振り返り、指摘する内容もありつつ、保守の良心・伝統・慣習の定義などを話され、とても理解しやすかった。

政治のマトリクス

配分をめぐる軸をY軸、リスクの社会化 vs リスクの個人化。

価値をめぐる軸をX軸、リベラル vs パターナル。

リスクの個人化・リベラル=小泉元総理

リスクの個人化・パターナル=安倍総理

と、例えを挙げられた。

世の中では、どれだけの人が【保守】や【リベラル】の意味がわかるのか？

私自身、政治に興味を持った時に「保守って？」と、ぼんやりとしか理解できていなかった言葉の意味を調べた。

選挙が近づくと、【保守】や【リベラル】の言葉は飛び交う。

言葉の意味を理解し、候補者の考えを当てはめていくと、選挙の必要性も、人選の見極めも出来るのではないかと思う。

そして、私自身の考えのブレは、どの立ち位置になるのだろうか？

自問自答し、今後の課題にしようと思った。

第2部 パネルディスカッション【議会活性化のための船中八策】

■コーディネーター 坪井ゆづる氏（朝日新聞論解説委員）

■パネリスト 高部正男氏（市町村職員中央研修所学長）

横田響子氏（株式会社コラボ代表取締役/お茶の水女子大学客員准教授）

古川康造氏（高松丸亀町商店街振興組合理事長）

田鍋 剛氏（高知市議会議長）

予算や事業の採否などの最終決定権を握っているのは議会であり、地域の将来を左右する重大な使命を担っている。

当然責任は重い。すべての議決にあたって、公明正大で説明可能な判断を求められている。

こうした議会像、議員像は、いまでは常識。すべての議員の共通認識になっている中での問題点をあげられた。

○行政監視機能をどうやって高め、成果をあげてゆくか？

○人口減少、外国人の増加、災害対応など、地域の将来を見据えた政策論議をすすめるために必要な視点とは何か？

○候補者男女均等法のもとで深刻化する「なり手不足問題」にどう対処するか？

○住民の関心を高めるには、何をすべきか？

【2日目】31日（木）

課題討議【議会活性化のための船中八策】

- コーディネーター 坪井ゆづる氏（朝日新聞論解説委員）
- 事例報告者 滝沢一成氏（上越市議会議員）
久坂くにえ氏（鎌倉市議会議長）
小林雄二（周南市議会議長）

地方議会の悩み

○女性議員

「女性議員ゼロ」の地方議会が多い。現在の女性議員の数は、全体の13.2%。

女性議員が3割を超えるのには、およそ45年後、5割を超えるのには100年近くかかる計算とのこと。

男性中心の議会の様子が浮かび上がった中には「セクハラ」問題があった。

○議員のなり手不足

人口が少ない自治体ほど、議員のなり手不足に悩んでいる。

理由は、「人口減・高齢化」「仕事との両立が難しい」「議員報酬が少ない」「有権者の関心が低い」「兼業禁止規定がある」「女性が議員になりにくい」などがあげられた。

○報酬

この4年間で、一般議員の報酬を変更したかの質問には400議会が増額されている。

減らしたのは49議会。政令指定市を除く市議会と特別区では166議会が増やしている。

住民の理解を得て、議員専業で暮らしていける報酬を受け取れる様にすることが重要。

○3ない議会

問題点として指摘されてきたのが、「3ない議会」

- 1 提案議案議案を否決も修正もしていない。
- 2 議員定数の政策条例を制定していない。
- 3 議員個人の賛否を公開していない。

すべての予算や事業の採否を、住民に見えない形の事前協議で決めてゆくことで、議会への信頼・理解が得られるだろうか？

議会と住民との距離を近づける取り組みは、自治体規模で差が大きい。

ケーブルテレビやインターネットなどから動画で議会を見ることが出来ることも重要。

議会は地域の重要課題について議論する場。足を運ばなくても見ることが出来ると情報が共有でき、関心も高まる。

議会の意思を可視化してゆくことも必要と思われる。

市民の声を市政に反映させる上で、男女問わず市民の各年齢層から議員がいることが望ましいと思う。

しかし議員に挑戦する人が全国的に少ないと数字を見て驚いた。

議会のことは知らないし、特に知りたいとも思わない・・・と言われる興味のない人が多いことも驚き。

これでは、投票率も低くなる。まさに負のスパイラル。

いかに市民の方に議会に興味を持ってもらえるか。

これからの重要な課題と思う。